

おお大勝利

平成 23 年度山東サッカー部報第 4 号 (5 月 2 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y1 二連戦は1勝1敗

4 月 30 日 (土) べにばなスポーツパーク第二運動広場、5 月 1 日 (日) 日大山形グラウンドにて、U18 県リーグ 1 部 (Y1) 第 3 節、4 節の二連戦が行われました。山東の相手は、それぞれ山形中央と日大山形。ともに昨年はプリンスリーグ東北 2 部に所属していた強豪。山東にとってこの二連戦は、前半戦の山場といったところ。

30 日 15:30 キックオフの山形中央戦。苦しい試合展開が予想されましたが、予想に反して良い立ち上がり。この第 3 節、U16 国対チームの試合がないため、それに選出されていてこれまで山東の Y1 の試合に出場していない 1 年ウスバが初スタメン。もう一人の CDF リョウとともに、DF ラインをまずまず統率している。左サイドバックのメッツは相変わらず老獪なプレーでチームに落ち着きをもたらしているし、右サイドバックのショウタも体を張った持ち味を発揮している。オフェンスでは、左サイドのシマヌキが今シーズン、新シマヌキになった成長ぶりを発揮し、スピードとクイックネスあふれるドリブルで山形中央 DF を翻弄。山東の好調ぶりが感じられる前半。この代のチームの (粘り強さという昨年来のストロングポイント以外の) 力に半信半疑だった顧問今野も、そろそろ彼らにまあまあの実力を認めなくてはならない。山形中央の力強い攻撃を受けるも、絶好機の回数を考えると前半はどちらかという山東ペース。しかし、アウトサイドをドリブルで突破され、こぼれ球をきっちりシュートされ、先制を許す。前半は 0 - 1。

後半立ち上がり、何回かパスが繋がった後に、こぼれ球がペナルティ外にいる 2 年ゴメのところに転がる。左方向に持ち込んだ右利きのゴメが、左足でシュートの態勢に入る。ベンチでは今野が「打つな」と叫ぶも後の祭り。正直、ゴメの左足シュートがああ位置から入ると思えない。すると、誰かに当たったのか、ダフリ過ぎて予想外の方向に飛んだのか、ともかく FW タダへの絶妙なスルーパスとなる。素晴らしい反応で飛び出したタダが GK よりも一足先に、ボールの方向を急激に変えるボールタッチでシュート！ボールは無人のネットに転々と転がるシュートとなり、同点。後半開始後、早くも同点にし、気分が軽やかになる。後半はどちらかという、シンプルに FW を走らせ山東 DF に息つく暇を与えない作戦の中央のペース。ですが、山東の攻撃も悪くはなく、四分六分の試合展開といったところ。後半の中ごろ、左からのグラウンダー (ゴロ) のパスを素晴らしいトラップで抜けだしたゴメが、右足インフロントでゴール右側に GK のセービングを巻いて入る落ちついたシュートを放ち、それが逆転弾となり、2 - 1。いやあ、しぶといチームになってきました。これでゴメは 3 戦連発。しかしその後、繰り返し CK、FK を山形中央に与えてしまい、中央の押せ押せムードとなる。すると FK からニアサイドをヘディングでぶち込まれ、同点。「山形中央相手に勝とうなどと思うのはまだ早いんだな～」とベンチで渋い表情となる。しかし！後半 40 分を過ぎた所で、相変わらずトリッキーな間で DF をかわしたカルが、再逆転弾となる

低い弾道のシュートでネットを揺らす。顧問の期待を（良い方向に）裏切ってくれる素晴らしい選手たちであります！！結局3 - 2の鮮やか過ぎる逆転勝利となる。今野はその日の午前1時に産気づいた妻から病院に呼び出され¹、陣痛に苦しむ妻を後ろ髪引かれる思いで振り切ってサッカー場へ来たのですが、割り当ての審判も終わり山東の試合途中で帰るつもりが、熱い戦いに心奪われ、結局最後まで居続けてしまいました²。なんとY1の試合に校長先生が応援に駆け付けて下さったいわば天覧試合のこの日、選手もよく発奮してくれました。

5月1日は12:00キックオフの日大山形戦。練習試合の日大戦では手ごたえある試合運びが出来たものの、公式戦は全く別物。前半、日大に押され気味。縦への展開の鋭さ、それを可能にするキックの技術の正確さ、リスタートの早さ、球際でのコンタクトプレーの巧みさ、いずれも日大と戦うと自チームとの違いを感じさせられ、本当に勉強になる。山東もカウンターから活路を見出そうとするも、FWのところではボールが収まらず、MFのドリブルも不発で、なかなか日大ゴールに迫れない。DFが体を張って守るので、ネットを揺らされることはなかった前半の終了間際、右サイド（日大からすれば左サイド）を突破され、正確なセンターリングにスピードをつけて頭から突っ込んだFWが頭で擦りあげたボールは、ファーサイドのネットに正確に吸い込まれ、山東失点。攻守にわたりゴール前のプレーに特に力強さのある日大らしい得点でした。前半0 - 1。

後半の展開も、日大押し気味で山東がカウンターを狙う。以前の日大は、カウンター中心の戦いが得意で、押し込む展開（相手のDFライン裏のスペースのない展開）では持ち味を発揮しない傾向にありましたが、近年の日大はそのウィークポイントがなくなったように感じられる。そんな中、少ないチャンスでしたが、メッツの素晴らしいFKからFWカルの今季公式戦初得点となるヘディングシュートが決まり、1 - 1の振り出しに戻す。するとカルを中心に山東ベンチに「揺りかごダンス」。顧問今野の長男誕生を祝おうとやってくれた粋なパフォーマンスに感動させられる。「昨日は勝ち点3をゲットしたし、今日は1ゲットで、連戦での勝ち点4ゲットは素晴らしいな〜」などと、タイムアップの前から気が緩んでいたのが悪かったか、昨日負けており勝負に執念を見せる日大がリスタートがらみの混戦から山東ゴールにボールをねじ込み、これまた終盤で失点してしまう。結局1 - 2で敗戦。攻撃においてはうまく行くことを前提に前もって動き、守備においては最悪の状況を想定して前もって動くというサッカーの基本ができていませんでしたし、その後の激励会でOB会会長がおっしゃっていたように日大と比べ勝ちへの執念が違っていたかもしれません。気を引き締めなおし、次節Y1第5節、鶴岡工業戦を戦います（鶴工Gにて）。応援よろしくお願いします。

まずはGW新潟遠征明けの地区総体の応援をよろしくお願いします。

地区総体 初戦 5月7日（土）VS 山形城北 10:30～ @山形市スポセン（落合）北側
初戦勝つと 5月8日（日）VS 日大と山商の勝者 10:30～ @同上南側

なお、日大戦後1日行われた保護者会主催の新生歓迎会・県総体激励会の模様は、地区総体明けの次号にてお伝えします。保護者の皆さま、ありがとうございました。

¹ その日の深夜、今野の高校時代のサッカー部監督S先生と、先生となぜか同席していたサッカー部保護者OBの方々（カオルの代）とから、激励の酒席に突然誘われたのですが、「妻の出産で呼ばれるかもしれないので」とお断りしたのですが、そうして本当に良かったです。その日の夕方の段階では全く陣痛が来てなかったため、駅前に行こうと思えば行けたのですが、万一と思いお断りしたら、12時を回って妻から連絡がありました。駅前に行っていたら大変なことになっていました。

² 試合後、もしやもう生まれているかもと焦って病院に直行しましたが、陣痛室からなかなか分娩室に行くことができなかつたようで、その後も妻は陣痛室で粘り強く苦しみました。結局5月1日午前3時、ようやく長男が誕生いたしました（命名は康蔵こうぞう）。